特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

事業名

バイカルチャーコミュニティ支援2025

取組内容

スペイン語圏をルーツに持つ**子供**たちや**保護者**を対象として、日本語、教育、相談支援を日西バイリンガルで実施。単なる言語の通訳ではなく、課題の解決につなげる**コーディネーター**的な支援を目指す。

◆ **事業期間**
令和７年４月１日～
令和８年３月31日

◆ **実績(人数・件数等)**
①54件、延べ194名
②42回、延べ378名
③19回、延べ42名
④3回、延べ47名

①バイリンガルでの教育相談、進路相談、発達相談
②バイリンガルでの日本語指導や学習支援（対面・オンライン・訪問指導）
③心の悩みに関し、子ども親対象にスペイン語で相談会を開催
④多様な言語を使用して発表、聞く、読む（学校のお便り等）の為に、携帯電話の翻訳機能を使用しての保護者支援



効　果

決まった場所で勉強、相談ができる場があるのは子供、保護者にとって安心できる源であった。都内の小学生は家庭訪問指導を行い、児童、保護者、先生をつなぎ母語を使用しての支援＋背景の文化説明を行うことで、相互理解を深める効果があった。

事業を振り返って　副理事　髙橋（タカハシ）　悦子（エツコ）さん



丁寧な指導は1対1となり効率は悪くなりますがそれなりの成果が上がります。進路に関して大切な事は、当事者自身が必要な事を調べ、自分の分かる言語で理解した上で日本の社会に合う進路決定や発言することへのサポートです。これらの決定が出来る力をさらに育むことがこれからの課題であると感じます。